

第30号

2020年3月6日
(令和2年3月6日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8217
奈良市橋本町3-1
きらっ都・奈良内NARAEGG 気付

『万葉集』がテーマのウォーキング、3週連続で開催！

元号「令和」が万葉集の詞書きから採られたことで、令和元年は空前の万葉ブームに沸きました。なかでも全万葉地名（延べ数）の約3分の1と日本一を占める奈良県は、大盛り上がりでした。まずは当会が3週連続で行った万葉歌碑などを巡るイベントを紹介いたします。（専務理事 鉄田 憲男）



専用列車が JR 奈良駅へ（昨年12/7）

JR 万葉まほろば線専用臨時列車

JR 西日本近畿統括本部大阪支社のご協力を得て、昨年12月7日（土）「JR 万葉まほろばウォーク」を開催（当会主催）。参加者数は126人（うち当会から32人）。車中では柿の葉ずしをいただきながら万葉集のご指南役・米谷潔さんのミニ講話に耳を傾けました。



車内でミニ講話を聞く皆さん（同日）



景行天皇陵周辺をガイド（同日）

巻向駅下車、大型建物跡から山の辺の道へ。歌碑の前では歌の朗唱も。当日の詳細は当会 HP「リンク集」の動画をご覧ください。



檜原神社でのガイドの様子（同日）

JR 万葉まほろば線（桜井線）専用臨時列車で行く
「JR 万葉まほろばウォーク」を開催！



新元号「令和」が万葉集の詞書き（詞書）から採られたことで、万葉集ブームとなっています。万葉集に登場する地名は全国各地で約2,900あるうち、奈良県は最多で約900（題詞、歌、左注の合計）。JR万葉まほろば線（桜井線）の沿線には、史跡や万葉歌碑などが多くある「山の辺の道」があります。このツアーでは奈良まほろばソムリエの会のガイドにより、小グループに分かれて山の辺の道を歩きます。柿の葉ずしのお弁当です。

日程 令和元年12月7日（土）10時50分 JR奈良駅前【旧駅前】集合
午前10時50分～11時20分 受付・集金
午前11時30分 改札内へ移動（切符は各自で購入。ICカードも利用可）
午前11時45分 発車。車内で万葉ミニ講話、柿の葉ずしの昼食
午前12時12分 巻向（まきむく）駅に到着
巻向遺跡大型建物跡 — 前行天園跡（奈良） — 額田王歌碑 — 檜原神社 — 五賢（ごけん）の滝（園部） — 狹井（さい）神社 — 大和の社屋礎台 — 大神（おほのかみ）神社（小グループに分かれて歩きます。「奈良まほろばソムリエの会」会員がガイド）
午後3時30分頃、大神神社周辺で流れ解散。徒歩約3時間・歩行距離約3km
参加費 1,000円（昼食の弁当代、保険料ほか。飲み物などは各自ご持参ください）雨天時行・荒天中止
定員 170名（先着順。締切日は11月30日（土）ですが、定員に足り次第締め切ります）※奈良県駅から巻向駅までの専用列車の交通費（大人330円）は別途必要（各自でご負担ください）
お申し込み方法 奈良まほろばソムリエの会・ガイドグループ ホームページより「ソムリエの会」にて
お問い合わせ 奈良まほろばソムリエの会のメールアドレスにお問い合わせください info@stomo.jp
主催 特定非営利活動法人「奈良まほろばソムリエの会」
協力 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社

特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

県の「万葉ウォーキング」に特別協力



広大な藤原宮跡をガイド（昨年11/30）

昨年11月30日（土）「檀原・藤原宮」と12月14日（土）「明日香」の計2回、県観光プロモーション課主催のウォーキングにガイド等として協力。参加者数はそれぞれ81人（うち会員14人）と81人（同18人）でした。



飛鳥川畔で万葉歌を朗唱（同12/14）

県立万葉文化館の庭園では、アトラクションとして「あすか劇団時空」による寸劇「大化の改新」を鑑賞、皆さん大喜びでした。



ついに入鹿が討たれた！（同日）

シリーズ「サンスクリット語」



エローラのラーマーヤナの彫刻

サンスクリット文学は、日本はもとより世界各国の文学に多大な影響を与えました。紀元前数世紀頃から作られた『マハーバーラタ』、『ラーマーヤナ』は代表的なものです。それらの中の「乳海攪拌」はアンコールワットやエローラ等に、「一角仙人」は『今昔物語』、歌舞伎に、「バガヴァットギーター」、「ラーマの話」はバリ島やジャワの

影絵に、「ガンガー降下」はエレファンタ島等に見られます。

私の関わってきた『カタールサリットサーガラ』は「物語（カタール）の全てが川（サリット）となり海（サーガラ）に注ぐ」の意で、神話・伝説・仏教説話・寓話・童話・笑い話・愚者話など多種多様な約 350 話が網羅されています。サフランや百合の花が咲き乱れ、山紫水明の地といわれるカシュミールのソーマデーヴァの著作です。11 世紀のものですが、現存しない『ブリハットカタール』（3 世紀頃）を踏襲していて、極めて重要な説話集です。『千一夜物語』、『グリム童話』などにも影響を与えています。その中で現代の我々への警告ともいえるべき一話を紹介します。

「ライオンを再生した兄弟」の話です。「両親も財産もなく、悲嘆にくれた 4 兄弟が、生きる最後の力として

神通力を修行により会得する。長男は骨から肉を作り出す。次男は肉に毛と皮を作る。三男は毛と皮に肢体をつける。四男は体に生命を与える。そして、4 人ともそのライオンに殺される」と。すぐれた能力を獲得しても、気をつけないと繁栄より、むしろ破滅をもたらすという話で、原発や AI の使い方についての先人からのメッセージのように思われてなりません。

サンスクリット語は難解な文字で、わけが分かりにくいと考えられがちですが、お経を含むその文献類は、奥深く人間の真髄を探ろうとしています。

（平越 真澄）



エレファンタ島のシヴァ神

レアスポット

近鉄平端駅から南西に徒歩約 25 分、ひっそりと推古神社があります。意外な感じがしましたが、推古天皇は額田部皇女と申されるので額田部に祀られるのは当然かもしれません。



推古神社拝殿扁額

推古神社から 200m ほどの西には、額安寺があります。聖徳太子がお造りになった熊凝精舎跡と言われている。

ます。寺号の由来には、「聖徳太子の叔母君に当たられる推古天皇が額に傷を病まれた時に、熊凝精舎の道場に平癒を祈願された。跡形もなくお治りになったので、額（ひたい）安（やす）らかなる寺『額安寺』の寺号を賜った」と伝えられています。推古天皇の女性らしい逸話です。聖徳太子は推古天皇ゆかりのこの地に学問所を造られたのかもしれませんが。

額安寺は明治期にはほとんどの寺領も失い廃寺寸前だったそうです。昭和 50 年に再建されたので外見は新しい寺院の様ですが、本堂の仏様たちは古風で、なかなか立派です。御本尊の十一面観音菩薩像は重文で、女性的で美しい。かつて「テレビ見仏記」のみうらじゅん氏がこの寺を訪



梵天様

れた際に、この像に釘付けになったというお話でした。私は右脇に居られる、等身大のちょっと伏し目の梵天様が好きです。多くの魅力的な仏さまが、無事残されていることに感動します。でも、意外と訪れる方が少ない。多くの方が訪れていただきたいと願っています。（酒井 良子）

シリーズ「うまいん奈良」

かわかみダムカレー



大迫ダム

豊富な水源と豊かな自然に恵まれる川上村の中心部には、計画から約 50 年以上を費やして建設された大滝ダムのおおたき龍神湖が広がります。さらに上流には 1973 年に竣工した大迫ダムもあります。二つの型式の異なるコンクリートダムと、川上村の奥地には 500 年以上も昔から手つかずの森林がのこされており「緑のダ

ム」と呼ばれる水源地の森があります。このような川上村ならではの自然と、ダムの新たな魅力を引き出そうと大滝ダム運用開始 5 周年を迎えた記念に、ダムを模った「かわかみダムカレー」が誕生しました。



かわかみダムカレー

吉野の山並みが一望できる開放的なギャラリー&カフェ「匠の聚^{むら}」のダムカレーは、重力式の大滝ダムを直線で、アーチ式の大迫

ダムを曲線に盛りつけたご飯が 2 種類のルーをしっかりと堰き止めています。スパイスの専門家によって考案されたグリーンカレーとキーマカレーは貯水池（ダム湖）に見立て、サラダは水源地の緑のダムをイメージしています。器やご飯の型抜きは匠の聚在住の作家によって作られたオリジナルです。見た目も美しいアートなダムカレーは一日限定 10 食。川上村では匠の聚を含む 6 店舗でそれぞれのこだわりダムカレーがいただけます。（道崎 美幸）

匠の聚（たくみのむら）

奈良県吉野郡川上村大字東川 135

TEL：0746-53-2381

営業時間：10:00～17:00

定休日：毎週水曜日

シリーズ「鉄道スポット」

信貴山急行電鉄 山上鉄道線



高安山駅ホーム跡

信貴山には奈良側（廃止）・大阪側（現存）のケーブルの他に通常の電車が走る鉄道がありました。大阪側の「西信貴ケーブル」の終点「高安山」から朝護孫子寺のある「信貴山門」2.1km を結んでいた「信貴山急行電鉄・山上鉄道線」と呼ばれていたものです。

昭和 5 年（1930）に西信貴ケー

ブルと同時に開業。大阪からの参拝客の輸送に活躍しましたが、車両転落など事故もしばしば発生。戦時中の昭和 19 年（1944）に不要不急の路線としてケーブルとともに休止。戦後の昭和 32 年（1957）近鉄により西信貴ケーブルは再開しましたが、鉄道線は正式に廃止、車両は伊賀線（現・伊賀鉄道）などに移りました。

鉄道遺構は、ケーブル「高安山」駅前に、プラットホーム跡が残っており当時を偲べます。廃線跡は現在「信貴生駒スカイライン」の一部となっており歩くことはできませんが、当時の鉄道と同じ「信貴山門」まで近鉄バスが運行されています。



ケーブルを使い引き上げる様子

両方をケーブルに挟まれた山の上に、どのようにして電車を運んだのか？なんと、ケーブルカーの線路を使って引っ張り上げたとのこと。現在の車両（20m）より短い 14m とはいえ急勾配を斜めに登る驚きの写真がホーム跡に掲示されています。

（小林 誠一）

シリーズ「万葉集」

『万葉集』のあらまし(1)

昨年、令和という新しい元号になりましたが、『万葉集』巻5にある大伴旅人宅での梅花の宴で詠まれた歌の漢文の序が出典であることから万葉集ブームがおきました。そこで、『万葉集』の概要を3回に分けて見ていきたいと思えます。

●万葉集は現存する日本最古の歌集



桜井市白山神社

奥に見えるのは巻1-1の歌碑

万葉集に収められている最初の歌は雄略天皇の歌とされる初瀬の丘で若菜を摘んでいる乙女に求婚する歌で、最後の歌は天平宝字3年(759)の正月に、大伴家持が詠んだ次の歌です(巻20-4516)。

新しき年の始の初春の
今日降る雪のいや重け吉事

意味は、「新しい年のはじめの新春の今日を降りしきる雪のように、いっそう重なれ吉き事よ。」となります。

万葉集の主たる編纂者といわれている大伴家持が亡くなったのが西暦785年ですから、万葉集は奈良朝の終わりごろ(8世紀末頃)に完成したものと思われます。

●万葉集は20巻・4500首

歌に付けられた番号は4516番までありますが、重出歌(全く同じ歌)や類似歌(一句のみ違う歌)

が約10首ずつあり、一首に2つの番号が付いた歌(巻6-1020・1021)もあります。また、歌の作者も天皇から庶民まで様々で、名前のわかっている人だけでも約500人います。原本は存在せず、現存するもので一番古いのは平安朝中期ごろの写本(桂本、金沢本など)です。

●収められた歌の年代は約130年<7世紀前半から8世紀中ごろ>と長い

万葉集に収められている歌は7世紀から8世紀にかけて詠われた歌で、約130年間と非常に長い期間の歌が集められています。そして、通常、130年間を4つの期間に分けています。

まず、第一期は舒明天皇が即位された629年から壬申の乱のあった672年までの約40年間です。この期間には、645年に中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我入鹿を飛鳥板蓋宮で暗殺した乙巳の変があり、大化の改新へと進んでいきます。

その後、天智天皇は近江に遷都し、671年に亡くなった翌年、大海人皇子と天智天皇の皇子の大友皇子との間で、古代日本最大の内乱である壬申の乱がおこり、大海人皇子が勝利します。

この第一期の万葉作者には、舒明天皇、天智天皇、額田王などがいますが、

額田王の歌一首(巻1-18)

三輪山を しかも隠すか 雲だにも
情あらなむ 隠さふべしや

意味は、「三輪山をあのように隠すのか。せめて雲だけでも心あって隠さないでほしいものを。」となります。



巻1-17-18の歌碑 山の辺の道

この歌は、天智天皇が近江に都を遷した天智6年(667)に、額田王が近江へ向かう時に大和との別れに際して作った歌です。

次に、第二期は、天武天皇が即位して、672年に飛鳥浄御原宮に遷都してから、藤原京を経て、710年に平城京に遷都するまでの約40年間です。この期間には、大宝律令の制定などがあり、律令体制が成立した時期になります。

この第二期の作者には、天武天皇、持統天皇、柿本人麻呂などがいますが、

柿本人麻呂の歌一首(巻1-48)

東の野に炎の立つ見えて
かへり見すれば 月傾きぬ

意味は、「東方の野の果てに曙光がさしそめる。ふりかえると西の空に低く下弦の月が見える。」となります。



巻1-48歌碑 かぎろひの丘万葉公園

今回は、第三期・第四期についてです。 (米谷 潔)

『奈良百寺巡礼』コラボ 保山耕一氏作品上映会「奈良、時の雫」



中央は長岳寺ご住職北川慈照さん

映像作家・保山耕一さんと当会の出会いは、令和元年6月の総会・講演会の時でした。がんと闘いながらも「僕にはやることがある！」と精力的に活動される保山さん。

何か一緒にできるものはないかと保山耕一さんの発案で、同年7

月から当会発刊ベストセラー本『奈良百寺巡礼』とコラボで「奈良、時の雫」保山耕一作品上映会が始まりました。

保山さんは「奈良には365の季節がある」と私たちの気がつかないような小さな命、奈良に住んでいるながら見たこともないような雄大な自然、この世のものとは思えない荘厳で清らかな景色等、それはそれは美しい映像を見せてくれました。(その時の様子は、当会HP ブログ『つれづれ日記』6/23.8/22.9/21/10/27/11/29 に詳しく実況していますので、ぜひご覧下さい)。

これからも奈良公園バスターミナルでは、当会とコラボの保山さん月イチ上映会(毎月第1土曜日)が開催されます。「神様には真心しか伝わらない」という言葉が大好きだという保山さん。

奈良の魅力を発信したいと撮り続ける保山さんの映像と当会『奈良百寺巡礼』(一つずつお寺を紹介)の旅を皆で一緒に楽しみませんか? 本年前半のプログラムは2月王籠寺、小野さん、3月、如意輪寺、富田さん、4月栄山寺、松永さん、5月円成寺、藤井さん、6月法輪寺、柏尾さんの予定です。(増田 優子)

奈良まほろばソムリエの会理事、松森重博氏の歌集「大和まほろば」好評発売中!! 他にも出版企画進行中! 会員の皆様も想いをカタチ(本)にしませんか?

奈良の魅力を奈良人が奈良から発信!! 京阪奈新書、あをによし文庫、奈良ガイド、自費出版 [京阪奈情報教育出版](#)

- 6月21日(日)に奈良ロイヤルホテルにて、まほろばソムリエの会総会と講演会、懇親会を開催いたします。
- 当会からの連絡は主にEメールで行っています。まだ当会にメールアドレスを登録されていない方は至急、当会の代表メールアドレス「info@stomo.jp」にご連絡ください。最新の情報がメールで届きます。また住所やメールアドレスを変更された方も、必ず当会の代表アドレスにご連絡をお願いいたします。
- 年会費やイベントの参加費は銀行振り込みに移行中です、ご協力をお願いします。

口座名義「特定非営利活動法人奈良まほろばソムリエの会」

南都銀行 神宮前支店 普通預金 2090352 ゆうちょ銀行 (記号)14510 (総合口座番号)10146081

<編集後記>

早いもので令和も2年になりました。今年も楽しい記事を掲載していきますので、よろしくお願ひします。

(広報G) 柏尾・梶尾・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・豊田(敏)・中村・廣岡・二上・福岡・藤田・増田・松森・吉川



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8217 奈良市橋本町3-1 きらっ都・奈良内 NARAEGG 気付

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記(ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード